

# ファミコン通信

独占情報

ロマンス  
ファミ通だけの  
続報

ザ・キング・オブ・ファイターズ  
'95 特報

徹底攻略  
シャイニングウイスタム

8/11

特別定価 320yen  
大增ページ躍進号

夏の怪談特集  
後ろの正面だくれ

本当にあった怖い話の数々を二挙掲載



発売直前情報  
これを読めばますます夢中になる  
ときめきメモリアル  
~forever with you~



# NEW GAMES CROSS REVIEW

新作ゲームクロスレビュー

7月31日～8月6日

批評家

発売日

7月21日

## ギャラクティック ピンボール



バーチャルボーイバックアップカートリッジ  
任天堂 4900円

立体感抜群の宇宙空間を再現した4つの台が遊べるピンボールゲーム。欠かせないサブゲームも、シューティングゲーム風なものなどを取り入れているぞ。

7月21日

## テレロボクサー

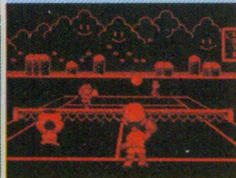


バーチャルボーイバックアップカートリッジ  
任天堂 4900円

ロボットどうしが熱いバトルをくり広げるボクシングゲーム。能力の異なるロボットは全8体。もちろん、おのおのが違った必殺パンチを持っているのだ。

7月21日

## マリオズテニス



バーチャルボーイカートリッジ  
任天堂 4900円

『マリオ』シリーズに登場するノコノコなどのキャラを選んで対戦するテニスゲーム。キャラによって足の速さが違うので、自分にあったキャラを選ぼう。

サワディンダ



あまりに永くウンコビービータイタイが続くので病院に行った。医師は「あ〜、胃ですな。あ〜、出血です。あ〜やられてます」だとさ。一瞬「出血……流血」と聞いて頭がフラフラした。酒は基本的にダメだそう。ただ基本的にだから例外もあるよな(酒好きのへ理屈ね)。

あやしいのである。なんともあやしい雰囲気なのだ。ゲームに熱中してくると、当初狭く見えていたフィールドが異様に広く感じてくる。ま、とにかくちょっと安っぽいSFチックさかなんともいい味出してるのだ。まさにコンピューターゲームっぽいピンボールと言えるかもね。

変にSFチックにしてあるけれど、ボクシングゲームとしてはじつはいままでにあったやつとさほど変わらないんだ(「パンチアウト」だったっけ?)。3Dでバンチが迫ってくるのが怖いかなんて思っていたけど、あんましこわくないのがちょっと残念。ま、これもあやしい1本だ。

今回のクロスレビューで遊んだバーチャルボーイのゲームは、どれもあやしいんだけど(基本が覗きだからか?)、そんななかであやしいながらも一番定番になりそうなのがこのゲーム。3Dのありがたみがよくわかる感じ。ただ、ほんとうのテニスをプレーしている気分にはほど遠いよ。

水ピン



先日アメリカに送り返されたと言っていたアメフトグッズが、アメリカ特派員みちよさんの追跡調査により、買った店に戻っていたことが判明。もう一度送ってくれることになったのだが、店側が何を送ったのか忘れてたので教えてほしいとのこと。ん〜、おしも忘れた。

工夫されたフィーチャーが随所に見られるのは好感度高し。ただし玉の動きがツルツルすぎていい、フリッパーの動きがもたつきしている、玉がフリッパーに触れると急減速するなど、ピンボールとしては完成度が低いのは問題。ピンボール風の別のゲームと考えればいいのか?

バンチの連打ではなく、敵の攻撃をかわしたあと確実にバンチをヒットさせるタイプ。個人的な攻撃を仕掛けてくる対戦相手のクセを見抜き、どんなときどう避けどう反撃すればいいかを見つけていくのは楽しい。対戦相手が少なく、その楽しさをあまり味わえないのは寂しいとこ。

アウトやネットがほとんどないお手軽感覚。コートが横に短く縦に長いので、バッシングがあまりにくくロフが有効。有効すぎてちと退屈なくらい。バッシングを決める快感が味わいにくいのも残念。味方の動きがまるで見えないダブルス前後時の画面は新鮮。敵の強さはそこそこ。

イザベラ永野



この夏は、怖い関係のゲームが大流行。今週は、クロスにも2本入ってるし、怖いゲームも特集してる。でもなー、映像で見る魘惑魘魘よりも、自分のイマジネーションが生み出した産物がいちばん怖いと思う。ゲームで心からビビることは私にはできそうもないなあ。

どの台にも、ユニークなフィーチャーがいろいろついてて楽しい。ただ、やっぱり映像的に地味なのは、せつかくの演出が十分に活かさなくてソソってるかなあ……。台の数が豊富だけど、似た感じの台が多いのが残念ナリね。玉(?)の動きがなかなかリアルでイカサわへん。

敵のロボットたちが土偶みたいに不気味〜。操作は非常にわかりやすく、簡単にいろんな攻撃、防御ができるのはいいけど、親指と人さし指のつけねがえらく疲れるなあ……。これはほかのゲームでも言えるけど、このゲームはとくにそれが顕著。ま、コントローラーの問題だけだね。

ふつうのテニスゲームだが、奥行きがバッチリなのでコートを رفتり来たりしてる感覚はかなりバッチャル、とはいえ、基本的には昔のテニスゲーとなんら変わりはないので、飽きは早いかもしれない。ダブルスで組むコンピューターたちがけっっこうおりコウなんだよね。

忍者増田



先日、南青山に行く機会があり、まだ編集部が南青山にあったところによく行っていた、春日屋というそば屋に立ち寄る。店のおばちゃん、拙者のことを覚えてくれました!!「忍者さんもお兄ちゃんになったねえ」。当時はまだ19の鼻たれ小僧でござったからなあ。

この価格で4種類のピンボールが楽しめるのはお得。用意された台は、どれも個性豊かだし。3Dで遊ぶピンボールは迫力あるてござるなあ。台の立体的構造が、RPG体験感を感じていかす(なんだそれ)。これがカラー&大画面でプレーできたらもう言うことないのでござるが。

プレーヤーは対戦相手と向い合っただたされ、もうその場から動くことはできない。リングを歩き回るということをせずに、そこで一歩も動かず殴り合うのだ。防御(攻撃もそうだから)で足を使えないのは、ボクシングとして不条理なものを感じていない。単調とも言え、単調かな。

普通でよいなあ。操作性も◎で、初代ファミコンの「テニス」を彷彿させる。あれ、地味ながら楽しかったでしょ。このゲームは、あれの立体版な感じ。ハデな必殺技や変な要素などは一切ない、純粹なテニスゲームだ。美しいぜ! 遊ぶとわかるが、いろんな意味で本物のテニスっぽい。



7月21日

## レッドアラーム



バーチャルボーイカートリッジ  
ティーマドバイソフト 4900円

ワイヤーフレームで描かれたステージを進んでいく3Dシューティングゲーム。自機に迫る敵を、バルカンとホーミングミサイルを使い分けて倒そう。

最新マシンで遊んでいるわけだし、ソフト自体も超新しいわけだけど、ジワジワと懐かしさがこみあげてくるゲームなんだな。ワイヤーフレームってのがポイントなんですよ。じつはこういうの好きなんです、ワタクシメは、バーチャルボーイ買うなら、ぜひ1本のゲームだけよ。

物体の位置が手前なのか奥なのか把握しにくいというワイヤーフレームの欠点は、バーチャルボーイの基本性能でクリアされている。ただ視界外の敵の位置が皆目わからない、後ろから攻撃されると突然ダメージを受けるなどシステムに難点もあり、敵の攻撃が激しく難易度は極高。

立体感がすごい。かなりバーチャル。ワイヤーフレームだけで描かれたグラフィックは、たしかに地味だけどカッコいいし、それなりに味があるよね。ゲームは、昔からあるシンプルタイプのシューティングだけ、バーチャルボーイの性能を知るにはもってこいの内容だと思う。

昔のパソコンゲームのフライトシミュレーターを彷彿させる。暗い雰囲気が好き。とくに名は挙げておきたいが、プレイステーションやサターンへのたなシューティングより、よっぽど3Dしてて迫力もあると思う。障害物と空間の判別が、チツつきにくいときがあるてごさるな。

7月21日

## とびだせ!ばにボン



バーチャルボーイカートリッジ  
ハドソン 4900円

爆弾で敵を倒すボンバーマンが登場するパズルゲーム。画面上方から落ちてくるキャラを、同じ種類で横、斜めに3つ以上揃えると消すことができるのだ。

ごくぶつうの「ばにボン」なんてある。妙な奥行き感はあるけれど、それがゲームシステムに関わってナントラカントラはぜんぜんない。ボクはアーケードとスーパーファミコンで遊んだほうが目が楽でいいやと思っちゃった人。バーチャルボーイで他に落ちゲーがないからいいか。

ありがちな落ちゲー。よく言えばいままでのテクが活かせるので入りやすい。逆転性が強く、勝っていてもハラハラする緊張感がある。相手は邪魔する攻撃が数種類あるが、知らないうちに知らない攻撃をしているので疎外感がある。あえてバーチャルボーイでプレイする恩恵はゼロ。

あまり立体的である必要性が感じられない。ジャンルでは「ボンバーマン」らしいフィーチャーがいっぱいだから、わりやすくていい。が、カラーじゃないからプロットの違いがちょっとわかりにくい。ところでこの手のゲームが対戦できないのって寂しい。

ワリとフツーの落ちものゲーム。やっぱり新鮮味はないてごさるな。こういったゲームの場合、「テトリス」や「ドクターマリオ」ぐらいのアレンジを見せしてほしい。正直な話、2Dで遊んでもそれほど変わりはない内容。バーチャルボーイの性能を、あまり活かされていないのが残念。

8月4日

鬼神童子ZENKI  
烈闘雷伝

スーパーファミコンカートリッジ  
ハドソン 9800円

コミックなどで人気の『鬼神童子ZENKI』が、横スクロールアクションになって登場。多彩な必殺技を駆使して、謎の邪術士たちを打ち倒そう。

キャラクターゲームで、このゲームのシステムっていうカルルはどうかその原作にのってできている模様。画面上で状況に応じたセリフがいろいろ出る。ファンならお喜びになれるのだろうか。難易度はそれほど高くないので、下手なりに話を楽しみながら先に行ける。

簡単なコマンドで必殺技が出る格闘アクション。通常の移動速度が遅い、ジャンプの飛距離が短い、2段階お喜びになると飛距離が変わらないなど、主人公の操作が不自由でもどかしい。足場や敵の当たり判定があいまいな点も気になる。トリッキーな敵や畏が多く難易度は高め。

昔よくあった難易度高め系のアクションゲームを彷彿とさせる。けっこう堅めの敵が最初からお出ましになるうえ、前鬼の動きがもたたりしてからの気分よくサクッと先に進めない。キャラの動きがもう少し滑らかだとよかつたな。簡単な操作でいろんな必殺技が使えるのはいいよね。

とくに複雑な操作を強いられることはないが、やらしいトラップもあり、全体的に決してぬるいゲームではない。たご、そんなにメチャクチャではない。ほかのゲームでは決めるのにひと苦労するような大技も、一瞬で出せるからね。簡単操作で必殺技が出せるのは気持ちいいね。

8月4日

Jリーグサッカー  
プライムゴール3

スーパーファミコンバックアップカートリッジ  
ナムコ 9800円

人気サッカーゲーム『プライムゴール』の第3弾。最大8クラブの総当たり戦が可能なモードなどのほか、選手を育成できる「君がヒーローモード」が増えたぞ。

ある意味でこのゲームは、1作目で完成されてしまっていて、この「3」が出てもここがすごいよ、すごいよ」というポイントがパツと目にはわからなかったりする点である。子細なところで改良はあるみたいだが、おおまかにはマイナーチェンジしてるところでは? 作りは丁寧だ。

お手軽操作で簡単にカッコイイプレーができるサッカーゲーム。まわりにも多少敵がいてもパスがスイスイつながるので、テンポよく試合が展開するのは気持ちいい。コンピュータが、自分で上げたセンターリングを自分で蹴り込めをメインのシュートパターンとして使うのは興ざめ。

お手軽で初心者でも楽しめる、と定評のあるこのシリーズですが、今作も楽チンなつくり。キレスポンスがよくて、遊びやすいてごさるよ(忍者入ってます)。でも、選手育成は手軽すぎ。各練習では実際にプレーヤーが操作できるようにしてもよかつたのでは? あと演出が地味よね。

『エキサイトステージ』ほど迫力はないが、簡単な操作法で楽しく遊べる。でも、ゴールシーンではりプレーがほしい。ほかのサッカーゲームにも言えるが、選手エディットと言わず、べつにひとつまることオリジナルチームを作れないだろうか。1対1のアップ画面はいらんと思う。

8月4日

## 超魔法大陸WOZZ



スーパーファミコンバックアップカートリッジ  
ピー・ビー・エス 10800円

コミックで人気の『超魔法大陸WOZZ』が、RPGで登場。3人の主人公からひとりを選ぶと、選んだキャラによって物語の展開や人との会話が変わるぞ。

ものすごく売れ線いいんである。マーケティングでこうなったんでしょか? でもまあ絵とか戦闘システムとか、初出の作品であるけれど、がんばっているなあというのが見えてなかなかいい感じではある。ただバランス調整など、オオザツかなと思えるふしもあるよ。

『FF』的な、キャラの表情や動きでストーリーを見せるRPG。難易度が低めで、誰でも入り込みやすいのは○。アイテムを合体させて新たなアイテムを作ったり、乗り物で敵と戦闘できたりと工夫も多いが、全体に漂うありがた感はいじりきれない。移動速度が遅いもの気になるとこ。

いろんなシステムがてんこ盛りで楽しい。イベントが充実してて、遊んでいくうちにいろんなことができるようになるので、ワクワクしながら先に進める。ギャグ満載のセリフとか、個性的なキャラたちに好感が持てる。バランスは悪くないけど、AIが少々おバカで戦闘が楽しめず。

先走りしちゃう熱血野郎、無口な癒病者、そして紅一点の天才少女と、メインキャラクターの性格づけがしっかりなされているのが個人的に気に入りました。でも、スタイルはやっぱり普通のRPGって感じがしちゃうてごさるな。オープニングが長いのも気になるてごさるよ。



# あっぱれ

## バーチャルボーイの最強アイテム発進。

### おおっすっぱー

空前の超立体高速3Dシューティングゲーム  
T&Eソフトの3Dテクニックを駆使した超立体高速3Dシュー  
ティングゲーム。かつてない異次元空間での迫力バトルが展開します。

### ほんとにすっぱー

カメラ移動による自由自在の視点切り替え  
4種類の視点にカメラ位置を移動することができるので、ゲー  
ムを4倍楽しむことができます。

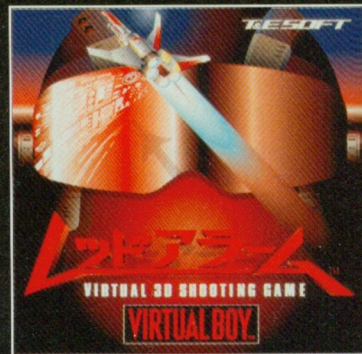
### こいやすっぱー

モーフィングによるキャラクター変形  
最先端CGテクニック「モーフィング」を導入し、敵キャラ  
クターが、生きているかのように滑らかに変形します。

### とことんすっぱー

ゲームスレイを再現できるリスレイドを搭載  
ゲームプレイを移動カメラで再現、プレイ中とは違った視点で  
バトルの様子を眺めることができます。

これが超仮想空間3Dシューティング!



©1995 T & E SOFT Inc.

T&E SOFT

株式  
本社/〒





ヴァーチャル3Dシューティング

# レッドアラーム<sup>TM</sup>

絶賛発売中!

標準価格 **4,900円** (税別)

株式会社 ティーアンドイーソフト

本社 / 〒465名古屋市長区照が丘10番地 TEL(052)773-7757

**VIRTUAL BOY**<sup>TM</sup>

バーチャルボーイは任天堂の商標です。



## 新着ゲーム通信



©SUSUMU MATSUSHITA COMPANY

ワリオクルーズ	223	スーパー野球道	224
ドカボン外伝～炎のオーディション～	223	鎧神戦記ミレニアムソード(仮題)	224
水木しげるの妖怪百鬼夜行	224	ガンガンガンチャン	225
無人島物語	224	空想科学世界ガリバーボーイ	225
ファールランドストーリー2	224	アメリカンバトルドーム	225
ザ・グレートバトルV	224	三國志IV	225

### VB ワリオクルーズ

バーチャルボーイ 任天堂 9月21日発売予定 4900円

アクション

バックアップカートリッジ

16メガ

マリオの宿敵、ワリオが大活躍するアクションゲームがバーチャルボーイに登場するぞ!! 財宝を目の前にしながら、地下奥底に落とされてしまったワリオ。ステージごとに隠されているカギを見つけ出しながら、ワリオを地下から脱出させるのがキミの使命だ。得意の“体当たり”攻撃で、行く手をさえぎる壁や敵をぶっ飛ばしながら、地下から脱出するのだ!!



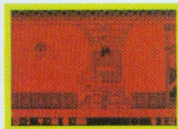
赤と黒の画面はなんにびつた地下のイメージか……? \*

奥と手前を自由に移動しながら、徹底的に地下を探索するわけだ。

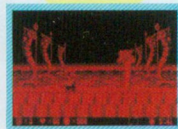
### 財宝のためなら命も賭ける!!



ワリオのメイン攻撃は、体当たりなのだ。これさえ使っていれば大抵の敵は倒すことができる。また体当たりで壁を壊すことができるので、行き止まりでもあきらめるな!!



奥と手前で冒険!!



©1995 Nintendo \*画面は開発中の、右目の映像をビデオ信号に変換して、テレビ画面に映し出し撮影したものです。

### SF ドカボン外伝 ~炎のオーディション~

スーパーファミコン アスミック 発売日未定 価格未定

ボードゲーム

カートリッジ

8メガ

RPGとボードゲームを融合させたシステムが好評な『ドカボン』シリーズの最新作。ルーレットを回して進み、止まったマスのイベントをこなしていくという基本ルールはそのまま。戦闘の形式がカードバトルタイプになって、よりスピーディーな展開が楽しめるようになったぞ。個性的な10種類のキャラと7種類のマップが用意されているので、長く楽しめるぞ。



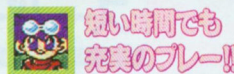
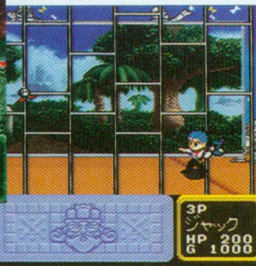
ルーレットを回して、出た目の数だけコマを進める。これが基本だ。

回せ、回せ、もっと回せ



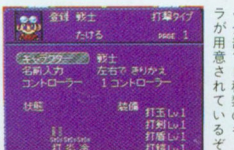
### 身ぐるみはいじまへ!!

戦闘はカードバトル。短時間で決着が付くので気分も爽快でござる。



短い時間でも 完璧のプレー!!

全部で10種類のキャラが用意されているぞ。



マップは小さめの。短時間で遊べちゃうのだ。

©ASMICK \*画面は開発中のものです。